

## 事業所のご案内

●事業内容・サービス提供時間：  
児童発達支援 14:00～16:00  
放課後等デイサービス 16:00～18:00

●営業日：月曜日～金曜日（平日）

●定員：10名（児童発達、放課後等デイ合わせて）

●実施地域：姫路市、高砂市、加古川市、揖保郡  
太子町、たつの市、佐用郡佐用町、宍粟市

●スタッフ：10名（保育士、作業療法士、言語  
聴覚士、公認心理師、特別支援教育士SV）



## ■研究活動・情報発信

プレイジムは、日々の実践をたえず見直し、その効果を客観的に捉えるとともに、積極的に学会など学術的な場で実践・研究発表を行っています。また現場実践を整理、体系化し、その知見を他の事業所とも共有できるように書籍の発行や様々なワークショップなどを開催し情報発信に努めています。



ワークショップ案内・予定等は、  
右QRコードからご確認ください。  
(プレイフルネス発達研究所へリンク)



2023.4

## プレイジム

〒672-8089

兵庫県姫路市飾磨区英賀宮台51

TEL/FAX 079-227-4110

事業所番号 2854001225

HP <http://playgym.info>

Mail [info@playgym.info](mailto:info@playgym.info)



Facebook



Website



山陽電鉄「夢前川駅」徒歩12分  
JR「英賀保駅」徒歩15分

株式会社アニマシオン

[animacion.co.jp](http://animacion.co.jp)

# Next Move

新たな”次の一手”を創造します

児童発達支援・放課後等デイサービス事業

プレイジムはインクルーシブ社会を理念で終わらせない



## プレイジム®へようこそ

プレイジムは、多様な発達スタイルをもつ子どもとご家族のために専門的なアプローチを提供する児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援事業所です。

●“Best interests of the child 子どもの最善の利益”

“子どもの権利条約”及び“障害者の権利に関する条約”の理念に基づき子どもの「最善の利益」を追求し、ありのままの自分らしさを保証し、そして子どもが思わずやってみたくなる個別最適な活動の提供を目指します。

●“Child-Centered 子ども中心”

「苦手がなくなること」「なにかができるようになること」のためではなく、今、大切な発達課題や配慮すべき特性を専門的知識・技術で捉え、子どもが自分自身の想いを実現していくための力を育むことを大切にしています。

●“Purposeful Activity 意味のある活動”

効果的なプログラムは、既成の教材ではなく、子ども自身が興味を持ち自分でやり始めたことを出発点とした活動を用いることです。個々の子どもにとっての「意味ある活動」を通して、真の学びが成立し、結果として発達の促進・機能の向上が生じていくのです。

管理者・児童発達管理責任者 太田篤志

作業療法士・特別支援教育士SV  
元姫路獨協大学・教授  
日本感覚統合学会・理事  
日本スヌーズレン協会・会長  
日本自閉症スペクトラム学会・常任理事



学童保育・保育園、重症心身障害児施設での作業療法に従事した後、広島大学医学部・学部内講師、姫路獨協大学・教授などを歴任。現在、発達障害に関する研究・講演・執筆活動に携わりながら、自治体・教育委員会・特別支援学校での研修、保育園におけるインクルーシブ保育のサポートなどにも取り組んでいます。

プレイジムは、児童福祉法に基づく児童発達支援・放課後等デイサービス事業の指定を受けています

## ■子どもにとっての“意味ある学び”

～自己効力感を育む～

●感覚運動を通した学び

プレイジムは、感覚統合理論を活用した療育を実践しており、感覚運動遊びを取り入れています。学業などの高度な能力を発揮するためには、その基礎をなす感覚運動の能力が十分に成熟しておく必要があるとされています。

読み書きなどの学業は、一見、ジャンクルジムのなどの感覚運動遊びと無関係のように見えますが、どちらも感覚情報を整理し、適切な行動・動作を生じさせていく脳の力という点では共通しています。つまり幼児期にみられる体の不器用さへの支援によって脳の感覚情報処理の力が高まり、高度な学習の力へつながっていくのです。



●関わり合いを通した学び

遊びを通して、他者への関心の芽生えを育み一緒に楽しみを共有していくための支援をしながら、子どもの特性に応じて言葉に限らない多様なコミュニケーションの方法(PECSなど)を活用し、自分の思いを伝えていくためのスキルを獲得できるようにします。



●思考の土台を育む学び

認知の土台となる機能(視知覚、記憶、数概念)の成熟を図ります。またディスレクシア(読み書き障害)に対しては、専門のアセスメントを実施し、音韻処理や語彙の獲得のための支援を実施します。

## ■アニメーション

アニメーションとは、特定の能力やスキルを高めるために行う教育的活動ではなく、支援者や子どもと一緒に、自分の好きな活動を通して、面白さ・楽しさ・喜びを追求・共有し、生き生きとした時間を過ごすことを大切にする考え方です。プレイジムでは、子どもたちの感覚的ニーズや知的好奇心を満たすアニメーション活動を仲間と一緒に楽しむ場を提供しています。



PlayGym Sensory Room

## ■子どもの多様性を受け止め、周囲が変わるための支援

～自己肯定感を育む～

●特性理解と自己肯定感

支援の第一歩は、子どもの理解です。子ども自身が、どのような想いや願いを持っているのか、なぜこのような行動をするのかなどを感覚特性、運動・認知・心理面などから分析し、個々の子どもの多様性を受け止めていきます。ありのままの姿が受け止められ、子どもが自分らしくあることに自信がもてる環境が支援の前提となります。

●特性に対する配慮

子どもが直面する困り感の原因は、子ども自身にあるのではなく、環境にあるという観点(社会モデル)での支援が大切です。感覚過敏による辛さ、認知特性による物事のわかりにくさ、不器用さなどに対して、支援グッズの活用や情報の伝え方の工夫、ICT機器の導入などによって、子どもの生活や学びが心地よさのなかで実現できるようにします。